**「日本語・日本文化研修留学生問題に関する検討会議」アンケート（令和４年度）**

本会議では、日研生を取り巻く問題について、参加者の間で意見交換をはかり、情報を共有できるようにするため、毎年、参加大学から事例報告を行っていただいております。

つきましては、各大学での実践例の報告にご協力くださいますようお願いいたします。

ご報告時間は1大学につき20分、ご報告ごとに質疑応答の時間を設ける予定です。

ご報告テーマは自由です。これまでの参加者アンケートには、下記のような事例報告を聞きたいというご提案・ご要望がありましたので、ご参照ください。

・コロナ禍における日研生教育の取り組みについて（未渡日学生のオンライン対応など）

・ポストコロナ時代に向けた日研生教育について

・日研生の就職活動のサポートについて（インターンシップ活動など）

・日本人学生との共修について（方法、長所・短所など）

・論文・レポートのテーマの決め方と指導方法、評価方法について

・他大学・地域・企業等との連携について

・ネットワークづくりについて（SNSの活用、修了後のネットワーク体制など）

・修了生のフォローアップについて（フォロー体制、進路や留学後の社会貢献活動など）

なお、時間の制約上、事例報告を「行う」とご回答いただいた大学のすべてにご発表いただくことができない場合もございますので何卒ご了承ください。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

大学名：

記入者所属・氏名：

・事例報告について　（　行う　・　行わない　）←　○をおつけください

・事例報告のテーマ　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

◎回答は8月31日までに、電子メール（cjlc@office.osaka-u.ac.jp、メールタイトル「日研生会議（大学名）」）で上記の情報をお送りください。

◎今年度は**対面実施の予定**ですが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、ハイフレックス開催に変更する場合もあります。

◎「行う」とご回答くださった大学には、後日、改めてご連絡させていただきます。連絡が届かない場合は恐れ入りますが、お知らせいただきますようお願いいたします。

◎ご発表くださる場合には、A4サイズ1枚程度のハンドアウトを10月31日までに、電子メール（cjlc@office.osaka-u.ac.jp、メールタイトル「日研生会議ハンドアウト（大学名）」）でお送りください。